

# ペタンク通信

北海道ペタンク・ブル連盟  
No.135 2023年7月  
発行責任者 磯野憲二  
メールアドレス ken-9753@sea.plala.or.jp  
HP <http://www17.plala.or.jp/ken-9753/>

## 4年ぶりのホスピタリティープランペタンク選手権大会 北海道連盟全協会から40チームが参加!!

6月11日(日)安平町ときわスケート内グラウンドで4年ぶりの大会開催となりました。北海道ペタンク・ブル連盟の9協会から40チームが参加した大会、参加チーム数もコロナ禍前に戻ったようです。

盛会だった大会、何よりも札幌ペタンク協会がベスト4に3チームが入賞する大活躍の大会に加えて優勝チームは「札幌シニアクラブ」で、ベテランの強さを魅せてくれた大会となりました。

ベテランの活躍で勇気をいただき、大会完全復活の風が北の大地に吹き始めました。



### ピタリティープランペタンク

(左)準優勝(札幌)・優勝(札幌)・3位(池田)

予選3試合、決勝トーナメント5試合の全8試合を勝ち抜いた札幌シニアクラブ、若者チーム、後藤ふたりも1点差でかわし、札幌協会同士の対戦でもベテランの実力を発揮したのです。

◎6月11日(日)ときわスケート内グラウンド  
40チーム(決勝20チーム)

◎土別1・土別/池田1・北見4(2)・美幌4  
(4)・美幌/札幌1(1)・札幌7(5)・池田6  
(5)・森4(1)・むかわ3(2)・白老2・池  
田/札幌1・安平6



表彰式で優勝を実感!札幌シニアクラブ

◎成績 優勝 札幌シニアクラブ 柿崎英男・斉藤 隆 (札幌市)  
準優勝 アルテオ 阿部 仁・阿部香奈江 (札幌市)  
3位 池田A・S 阿部都知子・坂本美枝子 (池田町)  
4位 札幌ソレイユA 中村寿司・五十嵐宣勝 (札幌市)



## 初級指導員資格検定講習会

6月10日(土)北海道スポーツ協会・北海道ペタンク・ブル連盟共催の初級指導員検定講習会を札幌市農試公園で開催しました。受講者5名全員が合格して、今後のペタンク普及での指導者として、またさらなる中級、上級と資格のレベルアップを期待しています。(合格者:北林正行・熊谷雅代・桑原吉行・寺地優樹・横山順子)主管した札幌ペタンク協会では、約10年ぶりの指導員検定講習会となりました。



小成講師とともに受講者・スタッフ撮影

# 6月17日第7回北海道ティール選手権大会/18日 第29回北海道オホーツクオープンペタンク大会 連日池田ペタンク協会の底力発揮される！！



(左) 準優勝・優勝・3位・4位

北見市民スケートリンク多目的広場で開催されたティール選手権、今年からトリプルスとなったオホーツクオープンペタンク大会は、天候に恵まれ、盛やかな逆転劇となる話題満載の大会となりました。

第7回北海道ティール選手権大会23名が参加し、予選上位8名による対戦トーナメント方式で決勝トーナメントを行いました。これまで優勝を果たしてきた小成裕之選手が、決勝戦では中鉢昇選手に敗れる、その高得点の素晴らしい対戦内容でのティール選手権となりました。アトリエ5のビュットティールの一球一球に会場は息をのむような球史に遺る、魅せられ決勝戦でした。

◎6月17日(土)北見市民スケートリンク多目的広場 23名(決勝8名)◎札幌4(2)・池田7(2)・美幌7(2)・むかわ2(1)・北見3(1)◎成績 優勝 中鉢 昇(池田町)・準優勝 小成裕之(美幌町)・3位 熊谷雅代(札幌市)・4位 木村敏幸(北見市)

第29回北海道オホーツクオープンペタンク大会には道内7協会から26チームが参加、7ブロックでの予選リーグ、1・2位のチームが決勝トーナメント、3・4位が残念トーナメントに進出してのペタンク三昧の大会運営となりました。

大会運営での各ブロックでの対戦結果記載、得点版など北見方式が随所に見られ、今後の大会運営の指針となる工夫が見られました。そして、前日のティール選手権大会の熱戦がオホーツクオープン大会でも熱風となって池田ペタンク協会の底力を魅せつけた大会結果となりました。札幌 NKK と池田 A・S・K の決勝戦は、決勝戦だけ11点先取、時間制限無しの見事な逆転劇となり、昨年の決勝戦を思い出すような、そして札幌の熊谷選手の悔しさが伝わる結果となりました。これぞペタンクという試合でした。



(左) 札幌・池田・池田・北見/むかわ

◎6月18日(日)北見市民スケートリンク多目的広場 26チーム(決勝14チーム)  
◎札幌2(1)・池田5(4)・美幌5(2)・北見/美幌/札幌1(1)・士別1・むかわ1(1)・安平2(1)・むかわ/北見2(1)・北見8(3)

◎成績 優勝 池田 A・S・K 阿部都知子・坂本美枝子・久保紀子 (池田町)  
準優勝 札幌 NKK 中村寿司・熊谷雅代・北林正行 (札幌市)  
3位 嵯峨チーム 嵯峨 旭・神内順子・塚や靖子 (池田町)  
4位 むかわ・北見 大友三成・上地雄大・高岡和希 (むかわ町/北見市2)



ベテラン大友選手のスキップに応えた上地・高岡選手はカーリングもしていて、ペタンクは今年6月に会員登録したばかりの新人なのですが、抜群の距離感で4位に入賞しました。

残念トーナメントで1位に輝いたのはノールエトワール美幌でした。美幌町ペタンクスポーツ少年団の加藤瑛太(中1)・小成琉惺(中1)・加藤ななこ子(小5)選手(写真左順)です。

2位 ルミエール 吉川幹子・村上幸江・白川美喜子(北見市)  
3位 士別サフォーク 内海 憲・内海照子・佐々木正徳(士別市)  
4位 北見橘 橘 トク・芳賀洋子・小野勝治(北見市)

# 第38回日本ペタンク選手権大会北海道代表決まる！

7月1日（土）・2日（日）札幌市農試公園屋外広場で北海道予選大会を開催し、順位を確定するとともに、11月18日（土）・19日（日）沖縄県糸満市で開催される第38回日本ペタンク選手権大会の北海道代表が決まりました。男子の枠は2チームですが、日本連盟に3チームで追加希望を提出しています。正式には8月末には確定する見込みです。

- 女子 1位 池田 阿部都知子・中鉢頼子・久保紀子<北海道 A>  
 2位 安平 今井悦子・横谷裕美・舛田幸子 <北海道 B>  
 3位 札幌 熊谷雅代・小泉由美子・桑原芳枝<北海道 C>  
 4位 北見 佐藤宮子・森谷美代子・桜本葉子<北海道 D>



北海道 A



北海道 B



北海道 C



北海道 D

- 男子 1位 北見 滝口洋祐・山中清史・大野智也<北海道 A>  
 2位 美幌 佐藤英二・松木光茂・田中三智雄<北海道 B>  
 3位 白老 塩崎昭一・遠藤勝彦・中村幸三<北海道 C：未定>



北海道 A



北海道 B



北海道 C

男子、美幌と白老は勝敗数では同じですが、直接対決で白老3位となりました。男子の4位から6位までは1勝の勝敗が順位を左右する混戦で、総当たりでの順位戦が北海道代表を決める最善の方法となりました。日本選手権での活躍を期待して道会員全員で応援しましょう！！

## 北の大地のペタンク大会第35回ダブルス選手権大会 4年ぶりの2日間の大会完全復活!! 初のミックスダブルス

7月15日（土）・16日（日）と4年ぶりの大会2日間の開催となりました。道内各協会から38チーム、道外2チーム（愛知県春日井市・千葉県印西市）の40チームが美幌町みどりの村多目的広場で、予選7試合、決勝4試合11試合、延べ試合数150試合を楽しみました。大会初日はあいにくの雨天、二日目は曇天でしたが、各ブロック上位2チームが決勝トーナメントに、予定どおりの大会日程で盛会な大会となりました。



(左) 準優勝・優勝・3位・4位

昨年の覇者池田中鉢チームと池田A・Kチームの池田協会同士の決勝戦となり、池田A・Kチームが初優勝。3位決定戦では安平横谷チームが北見・池田の懐かしの池北線チームに勝利しました。決勝トーナメントには北見市協会が6チーム、池田協会が3チーム、安平協会1チームの10チームが粘り強い、1点を争うトレビアンな試合を魅せてくれました。本大会でも池田協会の底力を強く感じる試合内容でした。

◎7月15日（土）・16日（日）みどりの村多目的広場 40チーム（決勝10チーム）

◎北見12（5）・北見/池田1（1）・愛知県春日井市1・千葉県印西市1・安平3（1）・札幌4・池田8（3）・むかわ2・森2・土別1・美幌3・美幌/三重津市1・美幌/土別1

◎成績 優勝 池田 A・K 阿部都知子・熊谷正人 (池田町)  
 準優勝 池田中鉢 中鉢 昇・中鉢頼子 (池田町)  
 3 位 安平横谷 横谷幸司・横谷裕美 (安平町)  
 4 位 懐かしの池北線チーム 山中清史・坂本美枝子 (北見市/池田町)



## 各協会だより 北見市ペタンク協会

6月3日(日)雨のため端野サンドームの中で、講師に小成裕之さんを招いて北見市・美幌町ペタンク協会18名が参加して「スキルアップ講習会」を開催しました。

北見市ペタンク協会では毎年会員のスキルアップのための事業として開催され、小成さんからの指導を受け、その成果が大会での成績に現れてきています。



何事も基本が大切！！

## 札幌ペタンク協会

6月13日(火)、札幌ペタンク協会のホームページを見て、ペタンクに興味をもった韓国からの訪問した若者4名と農試公園で体験と交流をしました。午前中の2時間で、簡単なルール、基本的な投球法、戦略を説明した後、ゲームを行い時間いっぱい歓声とハイタッチに満ちたペタンクを楽しみました。韓国ではペタンクは殆ど知られていないとのことでした。



韓国訪問団(男女4名)と札幌協会会員



7月9日(日)札幌市農試公園において「第15回パリ祭記念ペタンク大会」を開催しました。参加者は当日受付、試合方式は予選プル方式で実施しました。当日の天気は30度超えの予報のため、急遽、決勝3試合に変更し、トーナメント戦を行った結果、池田協会の嵯峨チーム(嵯峨旭・林トキ子・久保紀子選手)が優勝しました。



(左) 3位・優勝・準優勝

### 編集後記

北見市ペタンク協会今年会員登録した上地雄大さんと高岡和希さんがペタンクに挑戦することとなったのは、カーリングでのご縁だそうです。二人ともカーリングをやっているだけに、距離感はバッチリです。むかわの大友さんと組んでオホーツクオープンではいきなり4位に入賞し、今年の日本選手権が沖縄開催と上地さんの故郷に錦を飾りたいと北海道予選大会に村上会長と組んでの挑戦、15ポイントの6位と惜しくも代表は逃したものの、二刀流で継続すれば、日本代表も夢ではないのです。新人がいれば、帰ってきたペタンカーもいます。北の大地のペタンク大会第2回大会で優勝している池田協会の武内均会員です。池田町役場教育員会にいたときに、北海道のペタンク普及に尽力されたそうで、私は武内さんのご両親には可愛がっていただき、定年後に参加してきて武内さんの実力魅せてくれました。昔の名前で出ているペタンカーも活躍して、ペタンクは生涯スポーツであり、老若男女がハンディなしに対戦できるスポーツだけに、もっと愛好者が増えていいのでは！？高齢化・人口減少に逆行して、もっと会員拡大を！！(広報担当 磯野憲二)